

都山流の定着と

流祖中尾都山の相次ぐ来道

中島 聖 山

前号では、函館の宮川頌山や用瀬靈山、札幌の畑中康山ら宗家派遣の専門師匠の活躍、並びに日本製鋼所に勤務しながら、専門師匠に劣らぬ活躍をしていた室蘭の村垣谷山らの業績により、都山流が大都市を中心に全道拡大した様子を述べた。今回は都山流の全国的な発展の中にあつて、新開地である北海道がいかに関心されてきたかを、相次ぐ中尾都山の来道を中心に述べてみることにする。

流本部が畑中康山を評価

大正10年2月、都山流は創始25周年を迎えた。中尾都山が明治29年2月15日に、大阪市天満此花町の宮川理髪店の2階を借り、尺八指南を始めてから25年目の春である。創始当時、尺八の一流派が、海を越え山を越えて、全国的に普及発展すると、誰が予想したのだろうか。流の創始者である中尾都山ですら、思っても見なかったことではなかった。

大正10年3月13日午前9時から、大阪市の中央公会堂で、都山流創始25周年を祝う記念演奏会が開催された。会には中尾都山が全国で活躍する専門師匠の中から選抜した、流を代表するにふさわしい40名の演奏家達が出演した。渡道して一年余りの畑中康山もその一人に選ばれ、出演のためはるばる札幌から大阪へ出掛けた。そして、山口の高山麗山や多度津の浜田南山らと「松竹梅」を演奏した。

プログラムは本曲「春霞」に始まり、中尾都山の「岩清水」独奏で終わる20曲で構成される、流創始25周年を祝うにふさわしい盛大なものだった。

大正9年1月に渡道して以来、流発展のた

めに献身的な努力を続ける畑中康山の評価は、北海道の流勢拡大とともに次第に高まってきた。宗家の信頼厚かった畑中康山は、大正11年2月15日来道2年目にして見事師範に昇格した。同年11月12日には大平館で、康琳会の会員達主催により畑中康山の師範昇格を祝う記念演奏会が開催された。

大正6年に流運営の民主化のために制定された、宗家重鎮として選ばれた10名で発足した評議員会は、大正9年には地域の代表者で構成する形となり、全国5区7名が2期評議員に選ばれた。更に大正12年3月には3期の評議員として、全国15区の中から20名が選出された。この時、畑中康山は北海道から始めて評議員として選ばれ、流の運営に参画することとなった。

こうした畑中康山の業績により、大正12年7月1日、宗家は20円の奨励金を畑中康山に授与したのである。

函館で特別演奏会開催

特別演奏会は、流勢の拡大を目的に大正8年から始められた、本部主催の演奏会である。函館・室蘭・札幌の3都市を中心に、北海道の都山流が定着しつつあった大正12年に、第8回目の特別演奏会が函館で開催された。流祖中尾都山を始め、全国有数の尺八家の演奏が聴けるとあって、竹田侃一郎が地元の人材は万全の体制で受け入れ準備を行った。

7月7日午後7時から錦輝館で開催された特別演奏会は、地元函館の流人20名による本曲「朝緑」の演奏に始まり、中尾都山の「岩清水」の独奏で終わる全10曲のプログラムで

行われた。

この会には、函館の用瀬靈山を始め、室蘭の村垣谷山、札幌の畑中康山ら、北海道を代表する師匠のほかに、仙台の細田揚山、東京の津田維山・矢坂鈴山、大阪の平松應山らが出演した。糸方は地元函館の川内佐登治や札幌の遠藤操琴、東京の中島利之（後の生田流正派家元である中島雅楽之都）、大阪の鈴木君子らが出演した。

◎都山流第八回特別演奏会番組
会場 北海道函館市錦輝館

日時 大正十二年七月七日午後七時開会

- 一、本曲 朝緑（一部・函館・用瀬靈山、松岡暁光、西村康谷、松本頌青、渡辺頌瑤、小佐野紫朗、久保金蔵、福田喜三、高屋敷卯之松、三上理啓、二部・函館・竹田都鈴、藤田頌峰、上原頌啓、村上頌映、中田頌豊、渡辺精一、根元元貞、鈴木綱太郎、高橋哲、中村義雄）二、春の曲（函館・上原、松本、村上、渡辺頌、中田、箏・大阪・鈴木君子、札幌・遠藤操琴、東京・中島利之）三、榻枕（室蘭・村垣健谷、函館・竹田、大阪・平松應山、箏・函館・河内佐登治、三絃・札幌・遠藤）四、本曲 湖上の月（一部・中尾都山、畑中康山、用瀬、津田維山、二部・細田揚山、平松、矢坂鈴山、村垣）五、御山獅子（東京・津田、矢坂、箏・東京・中島、三絃・大阪・鈴木君子）
 - ― 休憩 ― 六、本曲 朝霧（一部・中尾、用瀬、竹田、二部・細田、津田、松岡、三部・平松、村垣、藤田、四部・畑中、矢坂、西村）七、千鳥の曲（東京・中尾、仙台・細田、箏・大阪・鈴木君子、東京・中島、八、都の春（函館・用瀬、東京・津田、箏・函館・杉村萩園、畑野松勢、三絃・小林幸勢）九、若菜（札幌・畑中、大阪・平松、箏・札幌・遠藤、三絃・東京・中島）十、岩清水（中尾）
- 中尾都山一行は、この後、小樽・室蘭・夕張・札幌・旭川の5ヶ所で地元主催の演奏会に出演した。また、中尾都山と中島利之の二人は、北海道巡演のあと樺太へ渡り、大泊・豊原などでも演奏を行い、7月下旬帰路に着



札幌・日専連・北専・札幌版・HCB
オリエント・セントラル・ミリオン
をご利用下さい。

邦楽邦舞の店

株式会社 キリヤ楽器店

札幌店 札幌市豊平区平岸3条15丁目2-20

TEL 011-823-6164

旭川店 旭川市3条通7丁目右70号

TEL 0166-22-2302



■営業時間＝午前10時～午後6時30分
■定休日＝水曜日

いた。
中尾都山一行の全道巡演

年月日	会場	司会	主な出演者
大正12年 7月9日	小樽倶楽部	島谷康馨	中尾都山・中島利之・梶野縫子・遠藤操琴 島谷康馨
大正12年 7月11日	室蘭劇場	村垣容山	中尾都山・中島利之・梶野縫子 鈴木健山・村垣容山
大正12年 7月13日	夕張鹿谷 社員集会場	金森康陵	中尾都山・中島利之・梶野縫子・鈴木君子 中尾都山・金森康陵
大正12年 7月15日	札幌大平館	畑中康山	中尾都山・中島利之・梶野縫子・遠藤操琴 畑中康山
大正12年 7月17日	旭川市村館	伊藤康彩	中尾都山・中島利之・梶野縫子 畑中康山・伊藤康彩

中尾都山の来道は、大正9年1月の札幌會出演以来、2回目であるが、このわずか3年の間に、北海道各地に都山流が定着し、演奏会を開催できるまでに成長した姿を目の当たりにして、さぞかし驚いたことであろう。

空蘭の村垣容山は、流祖中尾都山来道の特別演奏会を企画するに当たり、大阪から鈴木健山を呼び出演させることで、恩師に対する感謝の一端を表そうとした。こうした中にも村垣容山の人間性を垣間見ることができた。

第8回特別演奏会の開催に当たり、開催地代表として活躍した業績により、大正13年10月5日、用瀬霊山は師範に昇格した。

都山流創始30周年記念

大正15年2月14日午前11時より、東京帝國劇場で都山流創始30周年を祝う記念演奏会が開催された。出演者は倉川簫山ら東京の幹部達であった。翌2月15日には、功労者の表彰と記念品の授与が行われた。函館の竹田侃一郎はこの時、宮城道雄や菊原琴治らとともに表彰され、記念品として銀製洋盃一組を授与された。

北海道各地でも流創始30周年を祝う記念の演奏会が行われた。3月20日には旭川商業会議所にて、伊藤彩山司会により行われ、札幌の畑中康山も出演した。8月1日には室蘭の錦座で、村垣容山司会により行われ、糸方として札幌の遠藤操琴が出演した。また、10月3日には樺太大泊の中央座で松村康桜らが世話人となり演奏会を行い、札幌の畑中康山や

糸方として、旭川の三浦栄州らが特別出演した。更には11月6日、夕張の登座で夕張康琳会が主催して演奏会が行われ、畑中康山が出演した。

第18回特別演奏会と著しい師範の増加

昭和3年6月20日、中尾都山は中島利之らと同行して、3度目の北海道巡演のため東京を出発した。というのは、6月23日に札幌で第18回の特別演奏会を企画していたからである。札幌入りした一行は、演奏会に先立ち6月22日にNHK札幌放送局でラジオ放送の録音を行った。

6月23日、札幌市公会堂で中尾都山司会による都山流第18回特別演奏会が開催された。

演奏会は旭川の伊藤彩山・唯是想山、小樽の金森虚山、札幌の久保磐山ら准師範を中心に総勢40名の畑中康山門下生による本曲「若葉」の演奏により始まった。

◎都山流第十八回特別演奏会番組会場 札幌市公会堂
日時 昭和三年六月二十三日

一、中尾都山作曲・本曲 若葉(一部・彩山、康蕉、康星、康駿、康邦、磐山、康鳳、想風、康、蕉雨、康洞、康江、康煌、康坡、康晃、康堂、康鳴、康濤、稜紫、康勇、二部・想山、康涯、康風、康楠、康橋、虚山、康林、康、蕉芳、蕉夢、康尚、康節、康聲、康照、康保、康秀、康瑞、康桐、康隆、康石) 二、吉沢検校作曲・千鳥の曲(松浦康弘、宮川康經、加藤康彰、中村康慶、伊達康宗、中村康順、

吉木蕉博、高康朋、箏・中徳検校、同社中) 三、菊岡検校作曲・茶の湯音頭(加藤康照、笹岡康隆、古川康橋、下野蕉夢、鈴木康晃、松野康勇、安達康保、須田康石、三絃・中徳、箏・同社中) 四、山登松齡作曲・四季の遊(田藏康桐、真柳康菁、裨貫康星、河村蕉雨、箏・橋本賀寿井、竹中栄子、前川春子、浅田弥生) 五、菊岡検校作曲・けしの花(平野康嶺、春田康汀、五十嵐康亭、佐藤康月、三絃・中島利之、梶野縫子) 六、町田嘉章作曲・春信幻想曲(一部・中尾都山、伊藤彩山、久保磐山、二部・畑中康山、唯是想山、金森虚山、三絃・梶野、中島) 七、菊岡検校作曲・楫枕(金子康蕉、菅野康鳳、目良康江、広瀬康節、東野想風、三絃・中徳鳳琴、西田つる子、箏・梶野) 八、山勢松韻作曲・都の春(蘇武康涯、田村康鳳、井森康壽、井出蕉芳、本郷康坡、荒木庸煌、箏・橋本、本田喜代子、竹中、諸住栄子、浅田) 九、宮城道雄作曲・軒の雫(唯是、金森、三絃・梶野、箏・中島) 十、松浦検校作曲・若葉(伊藤、久保、南都康秀、三絃・中島、中徳鳳、箏・梶野) 十一、中尾都山作曲・本曲 朝霧(二部・康嶺、康遼、康幽、康帆、康經、二部・康汀、康韻、康柳、康文、康彰、三部・康亭、康彩、康弘、康宗、康朋、四部・康月、康擴、康慶、蕉博、康順) 十二、宮城道雄作曲・比良(中尾、畑中、三絃・中島、箏・梶野) 十三、山田検校作曲・松上の鶴(牧野康遼、石田康韻、山田康彩、板倉康文、加藤康擴、高井康幽、高橋康柳、景浦康帆、箏・橋本、本田、前川、浅田、諸住) 十四、中尾都山作曲・本曲 夕月(一部・中尾、二部・畑中、伴奏・中島、梶野) 十五、菊岡検校作曲・まの川(准師範札遇・西風康洞、大内康尚、大森康堂、岡本康林、三絃・梶野、箏・中島) 十六、宮城道雄作曲(甲)春の訪れ(乙)秋の調(中尾、箏・中島)

糸方は地元札幌から中徳検校社中と橋本賀寿井社中が出演し、「千鳥の曲」や「茶の湯音頭」などを演奏したほか、東京から中尾都山に同行してきた中島利之や梶野縫子が名演奏を披露した。この時、中尾都山はプログラムの最後に中島利之と宮城道雄作曲の「春の訪れ」と「秋の調」を演奏し、新曲の都山流

事業内容

- 建築一式工事、とび・土木・コンクリート工事、タイル・れんが・ブロック工事、ガラス工事・内装仕上工事、建具工事等の請負・設計・施工監理
- 建築・土木資材の販売
- 建築・土木資材及器具建具等の輸入・輸出
- 建築・土木資材並びに機材のリース業
- 砂利・砂・碎石の採取販売



■ 建築土木資材の総合商社

シテイ・キョードー株式会社

〒062 札幌市豊平区豊平3条8丁目1番26号協同ビル
TEL (011) 811-6777(代) FAX (011) 824-5396

をアビールした。その後、中尾都山ら一行は、会を行い、仙台に立ち寄ったあと、7月16日小樽、旭川、樺太など7か所で演奏会や講習に帰京した。

地で演奏活動することによって、都山流の勢力は飛躍的に発展することになったのである。

年月日	内容	場所	司会
3年6月24日	演奏会	小樽市小樽倶楽部	金森剛山
3年6月26日	〃	旭川市商業会議所	畑中康山
3年6月29日	講習会	樺太大泊王子製紙倶楽部	
3年6月30日	演奏会	〃 豊原樺太劇場	畑中康山
3年7月1日	〃	〃 大泊劇場	
3年7月4日	〃	〃 野田町野田劇場	
3年7月8日	講習会	〃 函館市	康琳会

中尾都山の来道状況

回数	来道年月	来道理由
1	大正9年1月	札幌會主催の演奏会出演のため
2	大正12年7月	第8回特別演奏会出演及び全道各地巡演のため
3	昭和3年6月	第18回特別演奏会出演及び全道各地巡演のため
4	昭和4年7月	函館竹霊会主催の演奏会出演のため
5	昭和5年9月	函館及び札幌での講習会のため
6	昭和6年8月	35周年記念祝賀会出席及び特別演奏会出演



第18回特別演奏会 (S3.6.23)

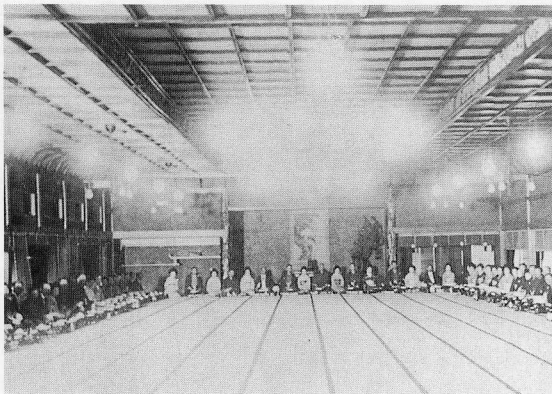
第18回特別演奏会と北海道・樺太巡演に対する功績により、昭和3年10月5日、畑中康山は北海道の流人としては初めて、竹琳軒冠称を許されたのである。

大正9年には道内に指南の資格を持った師匠は、函館の用瀬靈山、室蘭の村垣谷山、そして札幌の畑中康山の3名しかいなかった。それが都山流30周年の大正15年には17名となり、翌昭和2年には27名、昭和3年には32名にまで増えている。特に伸びが大きいのは札幌・旭川であった。これら指南の資格を持った師匠達が、積極的に門人育成に当たり、各都市別師匠分布状況(単位・人)

計	都山名	大15年	昭2年	昭3年
	函館	1	2	3
	室蘭	1	2	3
	札幌	4	6	7
	旭川	5	4	7
	夕張	2	3	2
	上川	2	2	2
	増毛	1	1	1
	歌志内	1	3	3
	小樽	1	2	3
	釧路	1	2	2
計		17	27	32



特別演奏会の記念撮影



都山流35周年祝賀会 (S6.8.9) 札幌幾代にて

中尾都山の来道続く

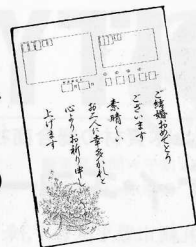
昭和4年7月6日に用瀬靈山が主宰する竹霊会の演奏会が、函館の錦輝館で開催された。この会には東京から中尾都山を始め、矢坂鈴山・山城曙山ら都山流の達人のほか、糸方

ハートをそのまますばやく届ける



人生の記念の日に、心をこめてレタックス。

レタックスは、ファクシミリを利用した新しい郵便サービスです。



みなさまの郵便局



として宮城道雄や中島雅楽之都・牧瀬喜代子らが特別出演した。

これは、7月8日に秋田市記念会館で伶風会主催の新日本音楽演奏会に出演する目的があったからで、その途中に函館に立ち寄ったためであった。さらに新日本音楽を普及させるためとあって、一行の中には田辺尚雄や町田嘉章も加わっていた。

全国での都山流の普及ぶりを目の当たりにした中尾都山は、各地での講習にも力を注ぎ出した。翌昭和5年秋に中尾都山は、9月14日の東京神田教育会館の講習を皮切りに、全国各地を回る講習の旅に出た。9月19日の新潟のあと、9月22日には函館の用瀬霊山宅にて講習会を開いた。続く9月24日と25日の2日間にわたって、札幌市公会堂で道央、道北の流人を対象に講習会が行われた。宗家はその後仙台で最後の講習を行い、半月に及ぶ講習の旅を終え帰京した。

度重なる流の行事を、どれも見事に成し遂げた功績により、函館の用瀬霊山は昭和6年2月15日、宗家から銀杯を受けた。

全国各地での流創始35周年記念祝賀会

昭和6年2月17日の大阪中之島中央公会堂を始めとし、12月5日の兵庫県豊岡町松和亭まで、全国20か所で都山流創始35周年の記念祝賀会が開催された。

北海道でも8月7日に函館の五島軒ホテルで、8月9日には札幌の料亭「いくよ」で、中尾都山出席のもと盛大に記念祝賀会が開催された。

札幌では祝賀会に先立ち、8月9日午前9時から札幌市公会堂で特別講習会が行われ、畑中康山門人ら20名が受講した。引き続き午後からは同公会堂で中尾都山の出演を得て、特別演奏会が行われた。

みんなで創り育てよう 北国の生活文化

こぐま文化基金

こぐま文化基金の果実(預金利息)は

▶ 助成事業

(1)備品整備 (2)国内研修 (3)交流発表の事業に対する助成

▶ 情報提供事業

情報誌「わがまち生活文化」の発行
などの事業に使われています。



募金 みなさまの心からの募金をお待ちしております。

お問い合わせ・お申し込みは

財団法人 北海道生活文化振興基金

〒005 札幌市南区真駒内公園1番2号 ☎(011)582-1501

いつだって、家族。

一生保障コース



リード21
8000
10年更新型
20倍プラン

積立配当金(いつでも自由に引き出すことができます)

自動更新

死亡・高度障害のとき
8,000万円+積立配当金

一生保障
400万円+積立配当金

生活設計の

第一生命

札幌支社
電話(011)241-3141